



# イノベーション政策研究会 第24回セミナー

2012年4月20日(金) 18:00～

## フクシマからユーロに至るメルトダウンを超えて

— 人間社会のシステム破綻の連鎖反応の必然的帰結: その機先を制するには —

X- Center Vienna 代表、前IIASA プログラムリーダー  
前サンタフェ研究所 主任研究員

ジョン・キャストイ 教授

X- Center Vienna 副代表、IIASA プログラム副リーダー  
フィンランド未来協会理事

リーナ・イルモラ 博士

- ◆ 日時 2012年4月20日(金) 18:00～20:00
- ◆ 会場 東京大学工学部9号館119号室  
<http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/jp/access.html>
- ◆ 参加費 無料

- ◆ 概要 今日、人間社会は、人々の思考・価値観、社会的価値の形成、技術・産業、世界の枠組み、自然環境すべての面で、複雑化を極め、想定外の事象はもはや不可避とさえなっている。  
このような中で、将来を的確に展望して安心できる社会を持続させるためには、1) 徹底的に情報を集めておおよそ万全と考えられる将来を洞察してそれに賭ける、2) 将来の完全洞察は不可能で想定外事象の出現は避けられないと観念して、そういう事態に遭遇した時に強靱かつ迅速に対応できるレジリエントな社会を構築する、かいずれしかない。  
IT大国で幸福度世界トップと言われるフィンランドは今やユーロの破綻・ノキアの停滞を始めとする7つの危機に直面している。我々は、これを人間社会のシステムの破綻の連鎖反応という視点で分析して、先に示したオプションに沿った対応ビジョンをまとめて政府に提出した。それは、順次各省やノキアなどで実行に移されつつある。最初にこのビジョンを説明する。  
この研究を通じて、昨年世界中を震撼させたフクシマやユーロのメルトダウンも同じような発想、アプローチで問題の本質や対応の方向に示唆を与えることができることに意を強くした。2番目にこの点を説明したい。  
我々は、以上に意を強くし、また使命感を強く感じ、想定外の事象が次々に起こり、その対処を誤ったために悲惨な出来事が起こらないようにしなければならないという責任感のもとに、今までの研究を集積・体系化し、現実の課題に具体的に役立てることをねらいに今年初めにウイーンに X-Center を設立した。最後にそのねらいと活動を報告する。

### ◆ プログラム

18:00-19:30 「フクシマからユーロに至るメルトダウンを超えて」

X-Center Vienna 代表 ジョン・キャストイ教授、X-Center Vienna 副代表 リーナ・イルモラ博士

19:30-20:00 質疑応答

- ◆ 主催 東京大学大学院 工学系研究科 総合研究機構 イノベーション政策研究センター TEL/FAX: 03-5841-1161 (直通) E-mail: info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp
- ◆ 申込 【イノベーション政策研究会 第23回セミナー参加希望】として、e-mailにてお名前・ご所属を info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp までお知らせ下さい。

